

6/18 木

難民行政改めよ

大阪 入管法改悪反対訴え

大阪では7日夕、市

民・弁護士らによるJ

R大阪駅前での緊急街

宣に多くの人が集ま

り、リースピーチで

「入管法改悪案は絶対

廢案に」と訴えました。

中井雅人弁護士は

「入管問題になじみが

ない方も、大阪入管で

の酒酔い診療は異常と

思われたはず。これは

医師個人だけの問題で

なく、絶大な権限や裁

量をもつ組織の構造・

体質に由来するもの。

さらに権限や裁量を拡

大する改悪法案は誤り

です」と話しました。

日本共産党、立憲

主党、社民党の議員ら

も参加。共産党的の清水

忠史前衆院議員は「酒

酔い診療を隠蔽（いん

ペイ）するなど、（名古

屋入管で亡くなった

ウイシュマさんの事件

を全く反省していない

ことが明らかになっ

た。入管局から難民行

政を切り離し、国際水

準の難民行政に改める

べきです。政府案を廢

案にするまで声をあげ

続けましょう」と訴え

ました。

辰巳孝太郎元参院議員も参加しました。



7日、大阪市・JR大阪駅前
プラカードを掲げる市民ら